

宇陀市総合戦略改訂版 H28.12

キャッチフレーズ：四季の風薫る 健幸で魅力あるまちづくりを目指して

しごと 地域資源を活かし育てるまちづくり

基本目標Ⅰ

1. 基幹産業である農林業の再生・活性化
2. 地域資源を活かした観光戦略
3. 地場産業等への支援による仕事づくり



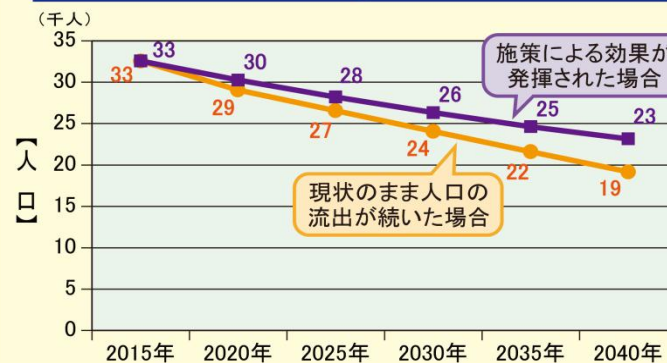
ひと 暮らしやすく交流が盛んなまちづくり

基本目標Ⅱ

1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化
2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実
3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実



2040年に人口23,000人を目指す



1. 地域連携の強化
2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現
3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現

まち 地域が連携した安心・安全なまちづくり 基本目標Ⅲ



基本目標Ⅰ しごと：地域資源を活かし育てるまちづくり

1. 基幹産業である農林業の再生・活性化

①1400年の伝統を受け継ぐ『薬草のまち宇陀』の全国発信

薬草プロジェクト事業



大和トウキ



「推古天皇薬猟壁画」星薬科大学所蔵

②高原野菜等のブランド化

特産品等認定開発補助事業



機能性表示支援事業

有害鳥獣対策の強化

③宇陀産材の普及及び森林の保全

木材出荷促進事業



宇陀市産木材利用促進事業

2. 地域資源を活かした観光戦略

①四季折々の自然をはじめとする宇陀の地域資源で観光地の魅力を創造

宿泊事業者誘致事業



観光誘致促進事業 等

②健幸都市宇陀ならではのスポーツツーリズムの推進

還暦野球推進事業



自転車のまちづくり事業 等

③宇陀のおもてなし、農家レストラン・農家民宿等の支援

おもてなしのまちづくり

～農家レストラン・農家民宿等支援事業～



④色彩豊かな宇陀づくり

かえて植樹推進事業



宇陀四季彩推進事業

3. 地場産業等への支援による仕事づくり

①未来に継承したい宇陀の地場産業等への支援

企業立地推進事業



商品企画支援事業



宇陀市伝統技術後継者育成事業 等



②ICT等を活用し、宇陀の産業情報の発信や特産品等をPR販売

ICTを活用した中小企業・個人店舗等情報提供事業



特産品・名産品PR事業

数値目標

・新規農業就業者:8名（H26）⇒25名（H31）・市内観光客数:122万人（H26）⇒150万人（H31）

1. 基幹産業である農林業の再生・活性化

1400年の伝統を受け継ぐ薬草産業の復興を目指すとともに、高原野菜のブランド化及び認定を促進し、基幹産業である農林業の取り組みを強化します。	重要業績評価指標（KPI）	平成27年基準値	平成31年目標値	担当課
■薬草の生産拡大から関連する商品・サービスの創出等を総合的に行い、『薬草発祥の地宇陀』から全国に薬草の魅力の発信を行います。 ■高原野菜等のブランド化を促進するとともに、6次産業化により、地域ブランド商品の開発を図ります。 ■林業の持続的で健全な発展のために、宇陀産材の需要拡大を図ります。	✓薬草を活用した商品開発品目数【累計】 ✓薬草生産者数【累計】 ✓機能性表示件数【累計】 ✓木材搬出量 ✓有害鳥獣被害額	0品目 2人 0件 8,950 m³ 11,600 千円	30品目 100人 10件 17,150 m³ 8,120 千円	産業企画課 農林課

具体的な施策①	1400年の伝統を受け継ぐ『薬草のまち宇陀』の全国発信
事業名	事業概要
薬草プロジェクト事業	■薬草を活用したまちづくり事業 ・市の産業として大和トウキをはじめ新たな薬草栽培についての支援を行う ・薬草等を活用した6次産業化についての支援及び薬草事業による雇用促進を図る ・薬草料理のレシピ開発等をはじめとした、薬草を学ぶための支援を行う ・地域ブランド化の推進により地域活性化を図る ・地域の生産者や商工業者が連携して、地域の自然的、歴史的、文化的関連性を活かし、地域のイメージとブランド化を結び付け、好循環を生み出すことにより、地域経済の活性化を図る ・ゆかりある企業（ロータ製菓等）との連携を図る ■薬草加工施設支援事業 ・市内で生産された薬草、農産物の6次産業化を目指すために、加工施設及びレンタル事業所の整備を行う ■全国薬草シンポジウム事業 ・「全国薬草シンポジウム」を開催することによって、地域を挙げて薬草ビジネスや取り組みを推進する ■薬草発祥の地「宇陀」PR事業 ・1400年前から現在に至るまでの宇陀と薬の関わりを現在の風景を織り交ぜながら空撮によるプロモーションビデオを作成する ・薬草壁画のレプリカ作成によるブランド戦略として、壁画を市内に設置し、薬のまちとして全国にアピールしブランド力を築く

具体的な施策②	高原野菜等のブランド化
事業名	事業概要
特産品等認定開発補助事業	・宇陀市の農産物等を特産品又は名産品として認定し、地産地消の促進を図る ・市内で生産された農産物等を活用した魅力ある商品開発について補助し、6次産業化を図る
機能性表示支援事業	・栽培を推奨している黒豆・大和トウキ等の機能性や栄養成分を調査・分析することにより、他市の生産物・加工品と差別化を図り、付加価値をつける
有害鳥獣対策の強化	・野生鳥獣による農林産物への被害を防止するため、有害鳥獣の侵入防止を目的とした防除施設の設置を行う等で頭数削減及び鳥獣被害に遭いにくい環境の整備強化を図る ・有害鳥獣の個体数を減らすための人材育成を図る

具体的な施策③	宇陀産材の普及及び森林の保全
事業名	事業概要
木材出荷促進事業	・地域資源を活用した新たな経済循環を目指すため、作業道開設等の事業展開を行うことで、雇用創出を図る
宇陀市産木材利用促進事業	・木材需要の大部分を占める住宅工事において、市内で生産された木材の利用をした者に市内経済の消費喚起を期待できる市内流通商品券を交付する

2. 地域資源を活かした観光戦略

自然、歴史、文化、景観など、宇陀市が全国に誇る豊かな地域資源を積極的に活用し、近隣自治体との広域連携をはじめとする観光戦略により、来訪者の増加を図り交流を活発にします。	重要業績評価指標（KPI）	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値	担 当 課
■宇陀市への関心や興味を持ってもらえるよう、地域の魅力を発信するとともに、様々なイベントの開催や受け入れ態勢を整えます。 ■スポーツツーリズムのより一層の普及により、宇陀市民だけではなく、広く市外からの来訪者との交流を深めます。	✓宿泊観光客数 ✓新規商品（着地型含む）の造成数【累計】 ✓農家レストラン・農家民宿数【累計】 ✓観光消費額	25,000 人 1 商品 0 件 3,812 百万円	40,000 人 20 商品 5 件 4,970 百万円	産業企画課 商工観光課 生涯学習課 まちづくり支援課

具体的な施策①	四季折々の自然をはじめとする宇陀の地域資源で観光地の魅力を創造
事業名	事業概要
宿泊事業者誘致事業	・昭和 55 年に建設された「保養センター美榛苑」について、豊富な地域資源や立地条件を活用できる宿泊事業者を誘致し、公設民営から民設民営へと運営形態を移行し、宿泊観光客数の増加を図る
観光誘致促進事業	■団体旅行誘致促進事業 ・市内へ団体観光客誘致の為、市内の宿泊施設および観光施設等を利用した団体旅行を実施する事業者に助成金を交付する ■観光客誘致事業 ・宇陀市の玄関口である近鉄榛原駅前に新たに観光案内所を設置する等で、観光客の利便性の向上やホスピタリティの充実を図る ■記紀万葉推進事業 ・平成 24 年は「古事記」編纂 1300 年、32 年は「日本書記」編纂 1300 年となり、奈良県とも連携をしながら宇陀市では、記紀万葉集を関連づけた事業を展開する
まちなか食べ歩きチケット造成事業	・市内の和菓子や飲食料販売店を募り、食べ歩きマップを作成する ・食の魅力の造成により来訪者を増加させる

具体的な施策①	四季折々の自然をはじめとする宇陀の地域資源で観光地の魅力を創造
事業名	事業概要
DMO 設立による広域連携観光事業	- 観光誘客力の向上と多角化を目指し、三重県名張市、宇陀市、曾爾村、御杖村で連携し、観光地域の舵取り役として、インバウンド観光を視野に入れながら、平成 29 年度に広域観光DMOを創設する - 観光地経営の視点に立ち、地域固有の歴史文化、自然などの資源を活かした体験型・交流型ツアーを企画し、国内外のエージェントに販売する他、市場調査に基づく事業計画の策定や観光事業者へのコンサルティング等を行う - エリア内の各市村において、観光客受入のための環境整備や地域の魅力を発信する事業を実施し、旅行者の受入環境を整備する

具体的な施策②	健幸都市宇陀ならではのスポーツツーリズムの推進
事業名	事業概要
大和高原スポーツツーリズム推進プロジェクト	■還暦野球推進事業 - 宇陀市の涼しい気候を活かしたスポーツツーリズムを推進するために、リピート交流人口の増加と町おこしを兼ねて大会を開催し、継続的な経済効果、安定的な交流人口の増加を図る - また、企業と連携して取り組みを進めることで、更なるPR効果を図る - 還暦野球の開催を通して、還暦野球のまち・健幸都市ウェルネスシティの全国的なPRを図る ■自転車のまちづくり事業 - 健康づくり、体力づくりのツールとして、自転車が人気になってきていることや、平成 27 年度に近畿高等学校自転車競技大会の開催を契機に、『自転車のまちづくり』を目指し、競技看板等の設置を行う - 実行委員会を組織し、高等学校競技のみならず、様々なカテゴリーの競技やサイクリング大会の誘致、自転車交通安全教室の開催など、“自転車のまち・奈良・宇陀”と認知されるよう全国に発信する - 自転車のまちづくりとしてのサイクリングロード・サイクルステーションの整備を図る ■登山道・ハイキングルートの整備 - 東部振興の拠点を目指して、四季の風薫る宇陀市の中で、地域資源である自然環境を生かした、登山・ハイキングをはじめとするスポーツツーリズムの一層の推進を目指す

具体的な施策③	宇陀のおもてなし、農家レストラン・農家民宿等の支援
事業名	事業概要
おもてなしのまちづくり ～農家レストラン・農家民宿支援事業～	- 市内で農家レストラン・農家民宿等に取り組む団体等に対する側面からの支援、農業研修生に対する空き家を活用してもらえるような支援を検討する（初年度活動運転資金補助、空き家・空き店舗等の改修工事補助等） - 各団体間で連携した取り組みを推進し、地域間競争力を産み出し、全体のレベルアップを図る - 農業・薬草事業における成功事例のメディア・F Bを通じて発信し、新たな農家レストラン・農家民宿等の起業者を支援する

具体的な施策④	色彩豊かな宇陀づくり
事業名	事業概要
かえで植樹推進事業	約 1,200 種類、3,000 本の世界的にも類のない収量を誇る「奈良カエデの郷ひらら」の認知度向上を目指すとともに、カエデの苗を参加者、施設利用者等に配付し、色彩豊かな宇陀市を目指す
宇陀四季彩推進事業	■観光地における自然環境の保護及び植栽 - 四季折々の花の植栽等を行い、一年を通じた彩り美しい宇陀の観光地を形成するとともに、観光地の自然環境を獣害防護柵等で保護する ■ライトアップ等夜間イベントの拡充 - 既存のライトアップイベント等を拡充し、自然と環境を活かした新たな観光イベントにより、夜間の誘客拡大、宿泊推進を図る ■自然環境や観光地のブランドをいかした着地商品の造成 - 観光地がもつブランド力の向上を目指し、自然環境を活かした着地型商品の造成をおこなう

3. 地場産業等への支援による仕事づくり

宇陀市が全国に誇る伝統産業・地場産業が将来へ継承できるように、新しくチャレンジする事業への支援・産業情報や特産品の積極的なPRを行います。 ■産・官・学の連携及び大手と中小の企業の連携等により、『ひと・もの・かね』が循環するネットワークを構築することで、宇陀市の地場産業や新しい事業の展開を目指します。	重要業績評価指標（KPI）	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値	担 当 課
	✓進出企業数【累計】 ✓市内伝統産業後継者数【累計】 ✓市内事業所の創業件数【累計】 ✓ポータルサイト利用事業者数	1 件 0 人 1 件 30 社	5 件 12 人 5 件 60 社	企画課 産業企画課 商工観光課

具体的な施策①	未来に継承したい宇陀の地場産業等への支援
事業名	事業概要
企業立地推進事業	- 企業立地手続きの簡素化、迅速化を図るための窓口一元化及び企業が進出、既存企業が増設しやすい体制を整備し、企業のニーズにあった支援策を検討する - 企業目的に適合した土地の造成を実施する等、受け入れ環境の整備を図る - 地域経済循環創造事業を推進し、「あと一步」で実現できるような地域活性化に資する事業について支援を図る
商品企画支援事業	市内の農産物や加工品等を大都市圏の百貨店や大手スーパー等と継続して取引を行っていくため、商品企画やパッケージの開発、様々な相談等により市内事業者を支援し、地域所得の向上を図る
うだチャレンジアシスト補助金事業	市内事業者が行う自社製品の販路拡大事業に対し、その経費の一部を補助することで、市産業の活性化を図る
中小企業等施設改修・設備投資補助金	施設改修や設備投資に対して補助を行うことで、市産業の活性化を図る
宇陀市伝統技術後継者育成事業	奈良県と宇陀市の地場産業に認定されている毛皮革産業や草木染め等をはじめとする伝統産業の後継者を全国また市内より募集し、それぞれの事業者とマッチングさせ支援、産業の安定化、発展及び継承を図る
創業・既存企業等支援ネットワーク事業	奈良県立大学・宇陀商工会・市内金融機関（南都銀行・大和信用金庫・JA ならけん）とネットワークを構築するとともに、創業支援計画を策定し、包括的に創業者や既存企業・個人商店等を支援していくとともに、各種セミナーの開催や、宇陀市独自のクラウドファンディング等の支援も検討する
アントレプレナー（起業家）育成循環事業	- 奈良県、宇陀市、ロート製薬による「大和高原の魅力ある仕事づくりに関する連携協定」を締結したことで、3 者の連携のもと、市の地域資源を活用した食と農を中心とするプロジェクトを立ち上げ、地域おこし協力隊制度を活用し、起業家を全国から公募し、育成・支援をする - 奈良県、ロート製薬とともに、事業の拠点となる施設の整備を図っていく - 市内での起業に向けて、起業支援メニューの充実及び空き家空き店舗事業やチャレンジショップ等との連携を進める

具体的な施策②	ICT等を活用し、宇陀の産業情報の発信や特産品等をPR販売
事業名	事業概要
ICTを活用した中小企業・個人店舗等情報提供事業	国、県、市及びその他の支援機関の産業情報を一元化する情報ポータルサイトを立ち上げる
特産品・名産品PR事業	市内の特産品や名産品、観光情報やイベント情報の年間を通したPR、ものづくり体験等を通じて、インターネット販売の促進、販路拡大及び知名度の向上を図り、宇陀市への来訪者を増やすとともに、地域所得の向上、産業の活性化を図る

基本目標Ⅱ ひと：暮らしやすく交流が盛んなまちづくり

1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化

①働きながら住み続けられるまちの推進

空き家・空き店舗等の活用事業



空き家情報バンク事業

定住促進奨励金交付事業



子育て世代定住支援事業 等

3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実

①夢を育む教育環境の充実

幼児教育環境充実事業



英語教育推進事業

子どもの夢を育てる「夢教室」事業 等

②元気な子どもづくりの推進

学校給食地産地消促進事業



うだ子ども元気づくり
プロジェクト事業



平成榛原子供のもり公園
再生プロジェクト事業 等

2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実

①婚活支援イベント等の充実

同窓会開催補助事業（アタック25）



結婚支援事業
～宇陀カップリングパーティー～

②誰もが子どもを産みやすい環境の充実

出産祝い金支給事業



一般不妊治療助成事業

③子育て支援の充実

便利な田舎

～宇陀のレシピ事業～



ファミリーサポートセンター事業 等

子どもに育てられる地域づくり
～地域子育てサポート事業～



1. 暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化

宇陀市への移住・定住を促進するために、 ICT等を積極的に活用して、宇陀市の魅力 発信に繋がります。 ■市外からの転入を増やすだけでなく、市民 の転出を食い止めるために、各種情報の発 信や定住支援を行います。	重要業績評価指標（KPI）	平成27年基準値	平成31年目標値	担 当 課
	✓移住相談件数 ✓空き家バンク登録件数 ✓空き家バンク成約数【累計】	60 件 20 件 7 件	120 件 60 件 50 件	まちづくり支援課 人権推進課

具体的な施策①	働きながら住み続けられるまちの推進
事業名	事業概要
空き家・空き店舗等の活用事業	- 改修補助金により、空き家・空き店舗等を商業目的での利活用に繋げる - 起業セミナーの開催や、ICT等の積極的な活用により、空き家・空き店舗等の活用に繋げる
女性のための就業支援事業	- 生産年齢人口が減少していく中で、意欲のある女性が活躍できる環境を整備していくことは、労働力確保の観点のみならず、経済を活性化する観点からも不可欠な課題となっている - そのため、女性の能力を最大限発揮できるよう、地域の実情に合わせた女性の活躍促進に向けた就労支援を行う
空き家情報バンク事業	- 所有者からの物件情報を市と協定を結んだ宅建業者が確認し、市内外の希望者に市HPを通じて情報発信し、空き家の有効活用を図る - また、登録者または購入者に対して、家財道具等の処分費補助を行う
定住促進奨励金交付事業	市外からのUIJターン者の転入促進と、市民の転出を抑制し定住化を図るとともに、活力ある地域づくりを支援するため、市内での住宅取得者が一定の要件を満たせば定住促進奨励金（市内流通商品券）を交付する
榛原駅周辺若者定住プロジェクト	都市マスタープラン等と連携して、公有地・民有地の有効活用も含めたまちづくりを構想する（例：複合図書館・チャレンジショップ・民間デベロッパーやミニ開発等）
子育て世代定住支援事業	子育て世代（18歳までの子どもがいる世帯）の転入転居を支援するため、定住促進奨励金に加えて、18歳以下の子どもがいる世帯に対して奨励金（市内流通商品券）を交付する
宇陀の魅力発信事業	- 移住・定住の促進に向けて、ICT・メディア等の媒体を積極的に活用し、宇陀の魅力を発信する - 事業メニュー例：移住者の声を集めた「移住定住PR冊子」の作成 等

2. 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実

宇陀市民が安心して結婚・出産・子育てを行えるように、切れ目のない支援制度の充実や環境の整備を図ります。

■同窓会やイベントの開催により、出会いやきっかけづくりなどの結婚支援のサポートを図ります。

■妊娠から出産・子育てまで支援制度の充実を図ります。

■子育てに対する個別の支援だけでなく、地域全体で支援する体制を整えます。

重要業績評価指標（KPI）

- ✓婚活イベント成婚者数【累計】
- ✓出生届け出件数
- ✓子育て支援センター利用者数
- ✓ファミリーサポート活動件数
- ✓一時預かり利用者数

平成 27 年基準値

1 組
144 件
6,700 人
130 件
1,350 人

平成 31 年目標値

10 組
175 件
7,500 人
250 件
1,500 人

担 当 課

まちづくり支援課
こども未来課
健康増進課

具体的な施策①	婚活支援イベント等の充実
事業名	事業概要
同窓会開催補助事業（アタック 25）	・同窓会を通じて故郷宇陀市を再認識し、同世代のネットワークの形成を目指し、再会による出会いの場を創出するために、同窓会の開催に対して補助を行う
結婚支援事業 ～宇陀カップリングパーティー～	・結婚支援イベントを開催し、カップルの成立と市内で住む夫婦の増加を目指す

具体的な施策②	誰もが子どもを産みやすい環境の充実
事業名	事業概要
出産祝い金支給事業	・新生児の誕生日を祝い、健やかな成長を願って祝いの品（市内流通商品券）を贈る
一般不妊治療助成事業	・一般不妊治療に要する費用の一部を助成し、不妊治療を行っている市民の経済的負担を軽減させる

具体的な施策③	子育て支援の充実
事業名	事業概要
便利な田舎 ～宇陀のレシピ事業～	■こんにちは赤ちゃん訪問事業 ・生後 4 ヶ月までの乳児がいるすべての家庭に、助産師もしくは保健師が訪問し、育児や子育て支援についての相談を行う ■ファーストバースデー祝い品事業 ・子どもの 1 歳の誕生日を祝い、絵本を介した親子のふれあい及び幼児期から本に親しむ習慣が生まれるよう絵本を贈る ■ベビーシート貸与事業 ・新生児から 6 ヶ月未満の乳児を保護擁護している方を対象にベビーシートを貸与し、乳児の安全と保護者の経済的負担を軽減させる ■びかびか 1 年生応援事業 ・子育て世帯による教育支援として、子育て家庭の経済的負担を軽減するため、小学校及び中学校入学を迎える家庭に市内流通商品券を贈る ■トリプルチルドレン事業 ・多子世帯による子育て・教育支援として、子どもの生活の安定や福祉の増進を図るため、多子世帯家庭に市内流通商品券を贈る
三世代ファミリー同居・近居応援事業	・子どもを安心して産み育てられ、また高齢者が安心して暮らせる健康で幸せな住環境を創るために、宇陀市外より親世帯と同居または近居することとした子ども世帯に対し、転入転居費用の一部として市内流通商品券を贈る
ファミリーサポートセンター事業	・育児のしやすい子育て家庭に向け、子育てを地域で相互援助し、安心して子どもを産み育てることができる支援を行う

子どもに育てられる地域づくり ～地域子育てサポート事業～	・まちづくり協議会等が中心となり、育児のしやすい地域づくりと地域の子どもの体験事業を通じ地域間の交流と学びの場を提供する
病後児保育事業	・子どもが病気の回復期にあり、保育所等が利用できず、保護者も就労等で保育できない場合の保育を行う
一時預かり事業	・保護者の私用等により一時的に家庭で保育ができない場合、一時的に保育を行う

3. 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実

子どもたちの笑顔がいつもあふれている宇陀市をつくるために、子どもの成長を支えていきます。	重要業績評価指標（KPI）	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値	担 当 課
■幼児期の教育環境を整えることにより、子どもの能力を向上させ、心身ともに健やかな成長を支援します。 ■就学前・小学校・中学校の連携を充実させ、『生きる力を育む教育』の充実や『豊かな地域教育力』の構築を図ります。 ■子どもたちの市・地域への郷土愛の醸成を図りながら、次世代を担う子どもの育成を目指します。	✓預かり保育利用者数 ✓ALT配置教員数 ✓自尊意識・地域との関わり等を肯定的に答えた児童生徒の割合 ※基準値の（）内の数値は全国平均 ✓学校給食地産地消率（野菜・きのこ類）	5,000 人 3人 「自分の良い所」小 75.2%（76.4%） 中 62.3%（68.1%） 「将来の夢や目標」小 87.0%（86.5%） 中 69.1%（71.7%） 「地域の行事参加」小 71.1%（66.9%） 中 50.2%（44.8%） 10.5%	6,000 人 5人 基準値から5%増 20.0%	こども未来課 教育総務課 学校給食センター 農林課 公園課

具体的な施策① 事業名	夢を育む教育環境の充実 事業概要
幼児教育環境充実事業	■ライブラリーチルドレン事業 ・運動用具の整備や音楽用具の整備を行い、それらの活動を行うことで、子どもたちの能力向上を図る ■預かり保育事業 ・通常の幼稚園教育時間の終了後預かり保育を行う ■臨床心理士の配置 ・福祉、教育分野での専門的知識をもった心理士を配置し、特別支援児童に対して幼児期からの早期対応に努める ■幼児教育専門員の派遣 ・宇陀市幼児教育を特色あるものとする為、専門的知識をもった講師を招き、園児及び職員の指導を行い、次代を担う子どもの育成と幼児教育の質の向上を目指す
英語教育推進事業	・すべての中学校に ALT を配置することでさらなる英語教育の充実を目指す ・各中学校区に ALT を配置することで、小学校、幼稚園等との連携がとれ、外国語活動教育の充実、児童、生徒の英語力の向上につなげる ・現代社会において重要な国際感覚を身につけられる教育環境を整えることにより、子育て世代の宇陀市への移住を促進する
子どもの夢を育てる「夢教室」事業	・「夢の教室」を開催し、夢を持つことの大切さ、なかまと協力することの大切さ、フェアプレー精神の大切さを児童に伝える
学びの広場UDAプラン・学力向上推進事業	・宇陀市内の幼保園・小中学校の教職員を対象に、学力向上の研修会や公開事業の実践等を行うことで、職員一人ひとりの自己肯定感や自信を育み、保育内容や授業改善、教職員の指導力向上、学校・園の教育の充実を図るとともに、ICT等の活用により児童生徒の学力向上を図る
学力学習状況調査事業	・小学校 5 年生・中学校 2 年生を対象とし、「標準学力調査」を実施し、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析することで、各学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等を目指す
学校・地域パートナーシップ事業	・「子ども活動支援事業」や「放課後子ども教室」を実施し、学校・家庭・地域が一体となり、地域ぐるみで子育てをする体制を構築することで、子ども自身の力を伸ばし、青少年の健全育成と地域の連帯、ふれあいを深めることを目指す
中学校・乳幼児ふれあい体験事業	・中学生が生命の誕生や成長について学び、また、乳幼児やその保護者との交流を通して、命の大切さや子どもに対する保護者の思いと子育ての大切さを知ること、自分や周りの人も大切に思うことができ、命の尊さを学ぶ

具体的な施策②	元気な子どもづくりの推進
事業名	事業概要
学校給食地産地消促進事業	学校給食での地産地消を促進し、新鮮で美味しい地場産給食を目指して、ＪＡや農産物直売所と連携した仕組みづくりを目指す
うだ子ども元気づくりプロジェクト事業	「子どもの体力向上」を目指し、「子ども元気ダンス」を策定し、市内各こども園等でカリキュラムに取入れ、子どもの運動能力の向上や音楽リズムの向上を目指す
平成榛原子供のもり公園再生プロジェクト事業	「子供のもり活性化協会」を中心に子供のもりの教室等の企画運営について検討をし、より一層の充実を図り市内外からの来場者を増やし宇陀市の魅力を感じてもらうことを目指す 事業メニュー例①：既存事業の充実（カヌー教室や木工教室等の拡大） 事業メニュー例②：花苗の植栽（四季の花を植えることによる季節の彩りの充実、ハーブ園の充実、ハーブッキングパーティの開催） 事業メニュー例③：市民や各種団体との連携（まちづくり協議会の協力、学校などのボランティアを募ることによる事業の推進）
子どもフェスタ事業	「子どもフェスタ」を開催し、遊び体験を通じて仲間づくりや参加者の交流を深めるとともに、豊かな感性を育み、未来を担う子どもたちの健全育成に努める

基本目標Ⅲ まち：地域が連携した安心・安全なまちづくり

1. 地域連携の強化

①市民が主役の地域づくり・まちづくりによる地域連携の強化

活力ある地域づくりは、まち協から



高齢者等見守り隊



ウェルネスシニア健康学校



安心・安全なまちづくり事業

①健幸を目指したウェルネスシティの推進

ウェルネスシティ“うだ”推進事業

1. 病気の予防と健康づくり

2. 子どもたちの体力向上

3. 介護予防と生きがいづくり

4. 歩きたくなる、仕事が続けられる環境づくり

5. とともに支えあう地域づくり

6. 地域包括ケアシステムの構築



宇陀市地域包括ケアシステム推進事業



①小さな拠点づくり

近鉄榛原駅周辺地区のまちづくり

宇陀松山周辺地区のまちづくり



うたの古市場地区周辺のまちづくり

室生口大野駅周辺及び
室生寺門前地区のまちづくり

②地域公共交通の整備

持続可能な地域公共交通
ネットワーク形成事業

2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現

3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現

数値目標

地域づくり取り組み件数: 12 件 (H26) ⇒ 100 件 (H31)

・健康寿命県内順位:

男性: 22 位 (H23-H25 平均) ⇒ 1 位 (H31)
女性: 28 位

1. 地域連携の強化

まちづくり協議会を中心に、地域の連携と地域の課題解決を図り、市民が主役の地域づくり・まちづくりを目指します。	重要業績評価指標 (KPI)	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値	担 当 課
■地域全体で身近な支え合いを行うことで、市民の健康で安心した生活に繋がります。 ■医療介護・防災への対応力を高めるため、宇陀市とその周辺地域との連携を強化できるように支援します。	✓高齢者見守り隊登録数 ✓自主防災組織の結成率 ✓ウェルネスシニア健康学校卒業生	13 自治会 61.66% 40 人	100 自治会 100% 120 人	健康増進課 介護福祉課 まちづくり支援課 危機管理課

具体的な施策①	市民が主役の地域づくり・まちづくりによる地域連携の強化
事業名	事業概要
活力ある地域づくりは、まち協から	- 時代にあった地域をつくり（まちづくり協議会）を中心に事業展開を行い、地域の連携と地域の課題解決を図るとともに、地域の中での経済循環の仕組みを形成することにより、市民主導でまちの賑わいを生み出すために係る経費の補助 - 補助メニュー例：高齢者居場所づくり、特産品開発、空き家活用、地域の魅力創造 等 - 平成 31 年度には地域全域をカバーできるように 20 団体を設立し、活力ある地域づくりを推進する
ウェルネスシニア健康学校	- 高齢者を対象に、学習、運動、創造の時間となるウェルネスシニア学校を開校 - 高齢者が指導する喜びや学ぶ喜びを感じ、地域サロンやまち協等で匠の技を伝承する等活躍することで、生きがいつくりや仲間づくりに繋げる - ボランティアの育成に努める
高齢者等見守り隊	- 在宅の高齢者等に対し、声掛け、見守り、安否確認等、身近な支え合いを行う - 高齢者等の孤独解消及び安心感提供並びに孤独死防止を図り、高齢者の安心な暮らしを守る
安心・安全なまちづくり事業	■災害時避難体制整備事業 - 災害時における避難体制の充実・強化を図るため、自主防災活動への支援及び避難所施設・設備整備を行う ■避難行動要支援者対策事業 - 災害対策基本法に規定する避難行動要支援者名簿の整備と情報共有化を行い、地域支援関係者と連携して避難対策の個別計画を策定し、災害時の避難支援体制の充実を図る

2. 健幸都市ウェルネスシティ宇陀市の実現

市民の誰もが健康で幸せと思えるまち、生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れるまちづくりを推進します。	重要業績評価指標（KPI）	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値	担 当 課
■市民一人ひとりが楽しみながら、日常的に運動に取り組めるような仕組みを充実します。	✓特定健康診査受診率	24.7%	60%	介護福祉課 医療介護あんしんセンター 健康増進課
■地域の人々が健康イベントで顔を合わすことで、人のつながりを強化するとともに、健康増進意識の向上を目指します。	✓介護保険サービスにおける居宅サービスの給付割合	35.3%	40%	
■高齢となって介護が必要となっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう「医療」「介護」「介護予防」「生活支援」「すまい」が適切に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指します。	✓医療介護あんしんセンター認知度	47.8%	60%	
	✓訪問診療認知度	67.0%	70%	
	✓認知症に気づいてから 6 か月以内相談や受診する割合	15.7%	30%	
	✓地域ぐるみで週 1 回以上運動を実施する箇所	32 か所	60 か所	

具体的な施策①	健幸を目指したウェルネスシティの推進
事業名	事業概要
ウェルネスシティ“うだ”推進事業	■けんこうマイメモリー ・ＩＴ健康管理システムを活用し、一日の歩数や消費カロリー、活動量を計測することで、運動習慣化を図り、健康寿命の延命を図る ・「ケンコウマイ手帳」の使い方を指導する健康指導員に対しても研修を行う等して、地域を指揮してＩＴ健康管理システムの使い方等を説明し、地域の健康管理を先導できるように指導する ■おはようラジオ体操 ・地域におけるラジオ体操の実施を促進する ・ラジオ体操をきっかけとして集まること、また地域の人たちと顔を合わせることで、人と人との繋がりを強くし、さらに地域の人同士での子どもたち・高齢者たちの見守り活動に繋げる ・ラジオ体操以外にも、筋力アップの運動なども実施する ■健康ポイント事業 ・ウェルネス事業に参加することで集まるポイントにより記念品と交換できる制度により、受診率向上、健康づくりの講座やウェルネスイベントの参加など積極的な健康づくりの取り組みへの参加促進を図る ■毎月のウェルネスイベント ・春のウェルネスウォーク等のウェルネスシティに関するイベントを毎月開催することにより、ウェルネスシティの事業参加者を増やし、効果を高めていく全般的な啓発を図る ■ウォーキングロード整備事業 ・健幸都市ウェルネスシティの実現に向けて歩きたくなる環境を推進するため、ウォーキングロードを整備する

具体的な施策①	健幸を目指したウェルネスシティの推進
事業名	事業概要
宇陀市地域包括ケアシステム推進事業	■在宅医療・介護等についての総合相談 ・保健師・看護師・社会福祉士・主任ケアマネジャーが相談対応し、市立病院をはじめ各医療機関や介護関係施設や事業所、行政担当課等とＩＣＴ等の活用により連携し対応する ■在宅医療・介護の情報把握・発信 ・医療介護ガイドブックの発行とホームページの掲載等を行い情報発信する ■認知症対策事業 ・認知症の進行状況に併せて、いつ、どこで、どのような医療・介護サービスを受ければよいか標準的な方法を示す認知症ケアパスの普及や、認知症の人を地域で支援するサポーターを増やす取り組み（養成講座）ほか認知症についての市民啓発を行う ・また認知症の相談について、認知症初期集中支援チームをつくり対応する ■市民への普及啓発 ・在宅医療・介護・認知症・権利擁護等について広報や講演会、地域ケア会議等で市民に普及啓発する ■介護が必要になっても在宅生活ができるまち （１）在宅医療体制を充実する （２）医療と介護の専門職の連携及び資質向上の推進を図る （３）地域包括ケアシステムの市民の理解を図る （４）家族等の介護力を強化する ■認知症になっても安心して暮らせるまち （１）認知症の早期相談、早期診断を推進する （２）認知症の人の家族支援を充実する （３）認知症高齢者の徘徊への対策をする ■高齢者がいきいきと健康づくりと交流ができるまち （１）運動・健康づくりの推進を図る 地域ぐるみで行う運動の推進を図る （いきいき百歳体操モデル事業） （２）健康づくり啓発事業を推進する ■市民参画・協働で生活を支え合えるまち （１）地域ケア会議を開催する （２）民生児童委員による一人暮らし高齢者調査を実施する

3. 誰もが住み良いコンパクトなまちづくりの実現

市街地や地域の拠点をネット（網状）で結ぶことで、各地域の中心地及び市街地周辺へのアクセスを向上させ、市民生活に身近な商店街や公共施設、快適な住環境が整ったコンパクトなまちづくりの実現を目指します。

また、地域住民・交通事業者・行政が一体となって持続可能な地域公共交通を育てることによって、地域間の連携を強化します。

■コンパクトなまちづくりに向けて、県と市が連携協定を締結のうえ、協働でプロジェクトを実施し、駅前のアクセスや利便性を向上させるとともに、都市機能を充実させる各種施設を整備し、多くの人々が集まれるようにします。

■地域資源を活用して市外からの来訪者を受け入れるだけでなく、地域住民の生活が向上するようなまちづくりを行います。

■公共交通が生活に密着し、より利用しやすいものとなるように、地域住民・交通事業者・行政が一体となって検討していきます。

重要業績評価指標（KPI）	平成 27 年基準値	平成 31 年目標値	担 当 課
✓ 榛原駅前通り通行者数 ✓ 榛原駅周辺事業所の年間売上高 ✓重伝建地区（宇陀松山）訪問客数 ✓室生寺周辺訪問客数 ✓「奈良カエデの郷ひらら」周辺訪問者数	50 人／時 約 2.1 億円 28 万人／年 19 万人／年 2 万人／年	100 人／時 約 2.6 億円 35 万人／年 30 万人／年 5 万人／年	まちづくり推進課 各地域事務所 企画課

具体的な施策①	小さな拠点づくり
事業名	目指すべきまちづくりの概要
近鉄榛原駅周辺地区のまちづくり	- 駅周辺にある既存施設等の地域資源を活用しつつ、都市機能を集約し、宇陀市の中心地としてふさわしいまちを目指す - 宇陀市の中心地として 4 地域を強力な有機的ネットワークで結び、宇陀市の魅力をさらに広げていく
宇陀松山周辺地区のまちづくり	松山城跡周辺の景観や重伝建のまちなみ、薬草、アニマルパークなど、市内有数の観光資源を活用した賑わいがあるまちを目指す
うたの古市場地区周辺のまちづくり	地区周辺を散策して記紀万葉の歴史を感じることができ、また、地場産業の伝統技術を活用して産業が活性化された、懐かしさと賑わいのあるまちを目指す
室生口大野駅周辺及び室生寺門前地区のまちづくり	「女人高野」室生寺の賑わいある門前町と室生山上公園で芸術を肌で感じられるまちを目指す - 室生口大野駅周辺を、賑わいがあり、歩いて楽しく住み続けられる、高齢者にも優しいまちを目指す

具体的な施策②	地域公共交通の整備
事業名	事業概要
持続可能な地域公共交通ネットワーク形成事業	■「健幸都市 ウェルネスシティ宇陀市」実現を目指すまちづくりを支える地域公共交通維持・活性化事業 ・榛原駅周辺の乗り継ぎ拠点としての整備及び道の駅「宇陀路大宇陀」再整備と連携した乗継拠点の整備等を図る ■市域全体をカバーする地域公共交通ネットワーク形成事業 ・市内の主要拠点施設を中心とする将来地域公共交通網等の検討を図る ■地域特性に応じた多様な交通手段による持続可能な地域公共交通の再編 ・市営有償バス（大宇陀南部線・榛原大野線）・デマンド型乗合タクシー・公共交通空白地有償バス（らくらくバス）の運行形態の見直し・改善等を図る ■地域住民・交通事業者・行政が一体となった地域公共交通育成事業 ・沿線住民・沿線事業所・学校・転入者等に対するモビリティ・マネジメント、社会実験等の実施を図る